

安全管理委員会 活動報告

西野 善一 副理事長

宮城県立がんセンター研究所
がん疫学・予防研究部



昨年公布された「がん登録推進法」の第25条では、国、都道府県、市町村およびこれらから事務の委託を受けた者に対してがん登録にかかわる情報の漏えい、滅失及び毀損の防止その他の適切な管理のために必要な措置を講じなければならないとする適切な安全管理措置についての義務を定めている。安全管理を適切な状態に維持するには各事業者が定期的に自己点検と評価を行った上で改善を行う取組みを続けることが必要だが、それとともに独立性を持つ外部機関から客観的な点検、評価を受け認証を得ることが安全管理措置に対する社会からの信頼を高める上でも重要である。

JACRでは定款で実施する事業の1つとして「がん登録室の機密保持基準の策定及び公表・認定事業」を掲げており、これをふまえて安全管理委員会は各登録における安全管理措置の実施状況について外部モニタリング(点検、評価、認定)を行う「がん登録安全管理措置モニタリング事業」の実施に向けた準備をすすめている。現在、理事会で承認された事業方針書を基に外部モニタリングの具体的な手順やモニタリングを実施する項目およびその評価基準の詳細について委員会での検討を行っているところである。これらが確定して理事会での承認を得た後に、今年度は試行的に2-3の登録に対してモニタリングを行う計画である。その際にモニタリングを行う登録は公募し、各登録に対しては費用負担を求めずに実施する。

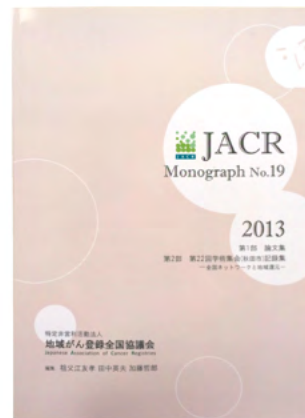
各登録が外部モニタリングを受けるには、マニュアル、個人データ取扱台帳、事故時対応手順といった規程類の整備が前提となるが、厚生労働省研究班が昨年度行った調査ではこれらのいずれも約3割の登録で整備されていない。全ての登録が外部モニタリングを受けることを可能とするために、各登録の規程類整備を支援する取組みも安全管理委員会の役割として重要と考える。

JACRモノグラフ 編集委員会より

田中 英夫 理事長/JACRモノグラフ編集委員

愛知県がんセンター研究所
疫学・予防部

JACRモノグラフは、当協議会が年に1回開きます学術集会の記録集として、1995年に発刊され、2013年までに19冊刊行しています。ISBNが取得されており、国内では唯一のがんの記述疫学研究・がん対策に特化した学術的な定期単行本です。



新しくなったモノグラフNO.19

2012年のNo.18までは、その年の学術集会長が、その号の編集にあたっていましたが、2013年のNo.19から、常設の編集委員を設置し、内容の充実を図ることにしました。具体的には、それまでの学術集会の記録集に加えて、地域がん登録資料や政府関係資料を用いたがんの記述疫学研究、院内がん登録資料を用いた病院、医療圏ごとのがん医療機能評価、がん対策の企画、評価、モニタリングに資する政策的な研究の成果などを、原著、総説、資料などの形で、投稿を受け付けることにしました。また、がん対策に対する提言や、海外でのがん登録事業の報告も、掲載の対象としています。

投稿されました原稿は編集委員による査読プロセスを経て、採否が決定されます。No.19では、このプロセスにより9論文が掲載となりました。現在、祖父江友孝編集委員長、私に、片野田耕太新編集委員が加わり、第23回学術集会長の中瀬一則三重大学医学部附属病院がんセンター長の4人の委員で、2014年版の投稿原稿の募集を行っています。研究成果を広く国内にアピールし、将来的に引用できる形で残しておけますので、皆さんからの奮っての投稿をお待ちしています。また、年1回の定期刊行とは別に、上記テーマの中から増刊号(supplement)も出す予定ですので、面白い企画をお持ちの方は、お気軽に編集委員までご相談ください。